

# 感染症情報 1月20日～26日

府下小児科193医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1,167例	(堺市 96例)
②RSウイルス感染症	310例	(堺市 14例)
③溶連菌感染症	292例	(堺市 36例)
④咽頭結膜熱	64例	(堺市 9例)
⑤伝染性紅斑	42例	(堺市 2例)

府下301医療機関(堺市29)から

**インフルエンザ 2,005例(堺市 177例)**

報告数による順位。前週比37.2%増の1,974件であった。。感染性胃腸炎が府下で前週から32%増、堺市で前週104例→今回96例。RSウイルス感染症が府下で64%増、堺市で前回13例→今回14例。溶連菌感染症が府下で45%増、堺市で前週30例→今回36例。咽頭結膜熱が府下で94%増、堺市で前週2例→今回9例。伝染性紅斑が府下で27%増、堺市で前週5例→今回2例。

流行性角結膜炎が定点あたりでは5位に入っている。

基幹定点だけが報告するマイコプラズマ肺炎は、大阪府で前週10例→今回8例。堺市で前週1例→今回2例であった。

インフルエンザが府下で前週3,564例→今回2,005例で44%減。堺市も前週406例→今回177例で56%減。定点あたり大阪府は6.66、堺市は6.10で、終息基準値10を一旦下回った。

府下301医療機関(堺市29)から

**新型コロナウイルス感染症 1,154例(堺市 132例)**  
**大阪府定点 3.83 堺市定点 4.55**

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
52	155	157	164	79	82	83	89	77	101	115	1154

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回994例→今回1,154例で16%増、定点あたり3.30→3.83であった。堺市で前週106例→今回132例で25%増、定点あたり3.66→4.55で、大阪府ブロック別で今回もワースト3位であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。